

令和5年度 原宿地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

高齢化の進行に加え、家族介護力の脆弱化、かわりの希薄化も進み、特に認知症により理解力・判断力が低下した利用者やその家族への対応については、個々のケースに対し臨機応変に行っていくことが求められている。そのような中で、地域住民一人一人が良好な関係作りを行い、自助・共助の実現を目指すことが必要である。
 今年度は新型コロナウイルス感染症の規制が緩和されていくことにより、地域活動が活発になっていくことが予測される。引き続き今年度もICT等を積極的に活用することにより「新たな交流の場」の創出、新しい生活様式に合わせた地域づくりを、町内会・自治会、各種団体と連携を行い支援していくことが求められている。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○昨年度は、チームオレンジの活動の一環として、傾聴ボランティア「虹」へのステップアップ講座を行った。引き続き5職種で連携し推進していく。また、今年度は新たに認知症カフェ開催に向けて取り組んでいく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	○昨年度までICTを活用した事業(集合型スマホ教室など)を行っていたが、今年度は個別型のスマホ相談会実施に向けて地域の支援者、関係者と連携し進めていく。(参加者から支援者へ)
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	○可能な限り地域活動に参加し、安定した地域活動が継続できるよう、後方支援を行う。介護予防予防事業への男性参加者が少ないため、男性限定の介護予防講座を開催する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	○地域で活動している団体への声掛けを行い、ヨコハマ地域活動・検索ナビへの登録につなげる。地域住民へ向けたインフォーマルサービスの情報を周知し利用につなげる取組を進めていく。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

○傾聴ボランティア「虹」へのステップアップ講座を実施し、現在チームオレンジとして活動中。新たにパンフレットの作成や、ホームページの開設準備を進めている。また、認知症カフェも8月より再開し、年明けにチームオレンジとして立ち上げを予定している。
 ○今年度は集合形式のスマホ教室は開催できなかったが、今までの卒業生を中心としたグループ(とつかスマホサポーター)の立ち上げ支援を行い、月1回のスマホ個別相談会を開催することが出来た。引き続き関係機関と連携し推進していく。
 ○生活支援コーディネーターと協力し可能な限り地域の介護予防活動に参加し、継続的な活動ができるよう支援した。また、男性限定の介護予防講座を実施し、継続的な活動グループの立ち上げを行った。
 ○地域で活動する団体をヨコハマ地域活動・検索ナビの登録に繋げることが出来た。今後も地域活動情報の収集を行い、登録数を増やしていく。また、地域住民へ向けたインフォーマルサービスの周知を行い、利用に繋げることが出来た。

区からのコメント

今年度は、各地域で様々な活動が再始動する一年となりました。世代や分野を問わず、様々な相談を受け止めることで地域の困りごとや住民のニーズを把握し、各職種の専門性を生かしながら取組を進めてくださっています。地域ケアプラザで活動団体の支援のみならず、団体や個人のニーズを捉え様々な観点での事業企画をしてくださっています。また、困ったときの相談先として地域ケアプラザを積極的に広報していただき、地域ケアプラザ認知度向上に大きく貢献していただきました。
 地域包括支援センター運営事業においては、身近な福祉・保健の拠点として、地域ニーズを把握し多職種連携のもとチームアプローチで介護予防支援や包括的支援を行っていただきました。
 今後も地域ケアプラザの強みを生かし、地域住民に対する専門的な支援とさまざまな活動への支援の両輪で進めていきたいと考えております。令和6年度からはこれまでの第4期とつかハートプランの取組を踏まえた第5期の策定に向けて、地域との調整・協働が本格的にスタートします。地域ケアプラザと区役所で力を合わせて取り組んでいきましょう。

令和5年度原宿地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>①居宅介護支援事業所にケアプラン作成を依頼する際及び地域包括支援センターから予防プラン・介護予防ケアマネジメントを委託する際に、特定の事業所に偏らないようにする。</p> <p>②自主事業や貸館の申し込み等は、横浜市地域ケアプラザ施設利用マニュアルに準拠した社内ルールを設け、夜間開閉館情報もSNS等を活用し公正・中立に行うように努める。</p>	<p>法人の規程・規則に基づき、倫理・服務研修の実施をする。横浜市の指導に基づき個人情報保護について、啓発、情報共有、研修を実施する。ヒヤリハットや事故が起きた際には、記録にとどめ、当日のうちに事故原因を検証し、具体的な予防策をたてて、再発防止に努める</p>
実績	<p>①居宅介護支援事業所にケアプランを作成依頼する際及び地域包括支援センターから予防プラン・介護予防ケアマネジメントを委託する際、「ハートページ」「戸塚区内居宅支援事業者ケアプラン対応可能件数一覧表」を活用し選択肢があることを説明し特定の事業所に偏らないように努めた。</p> <p>②自主事業や貸館の申込等は広報などを活用しながら、横浜市地域ケアプラザ施設利用マニュアルに準拠した社内ルールに沿って、公正・中立に運用を行った。また、夜間開閉館情報もSNS等を活用し公正・中立に行うように努めました。</p>	<p>①職場研修において、倫理・服務や個人情報保護等の研修を実施。</p> <p>②各部署会議や全体会議等で事故について対策も含め状況報告をし、職場全体で事故防止に取り組む姿勢をもつようにした。</p>

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>利用者の心身機能の改善だけでなく、地域の中で生きがいや役割を持って生活できるよう、「心身機能」「活動」「参加」にバランスよくアプローチするケアマネジメントを行っていく。</p>	<p>コロナ禍においても、住み慣れた地域でその人らしく、自立した生活を送ることができるよう、感染予防をしながら、地域の方々、介護・医療・福祉等の各関係機関と連携し、利用者の意向に沿ったケアプランを立案しケアマネジメントを行います。</p>
利用料金	<p>【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額</p>	<p>【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額</p>
	<p>【その他料金】 利用者の負担はなし。</p>	<p>【その他料金】 利用者の負担はなし。</p>
職員体制	<p>地域包括支援センター三職種4名</p>	<p>居宅介護支援事業所管理者1名(常勤兼務) 主任介護支援専門員1名(常勤専従) 介護支援専門員3名(常勤専従)</p>
契約者数	<p>要支援1 82名 要支援2 130名</p>	<p>要介護1 43名、要介護2 50名、要介護3 19名、 要介護4 9名、要介護5 2名、合計123名</p>

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	ご利用者が住み慣れた地域や在宅での生活を維持継続できるよう支援していきます。サービスを提供するにあたり、ご利用者へは説明と選択制をもって、意思、自己決定をして頂きその方らしく目的をもって取り組むことで、心身の状況を整え、目標が達成できるように努めます。また、家族等ご利用者の介護に携わる方の介護負担軽減が出来るよう、関係機関との連携と協力しながら支援していきます。感染症対策は感染状況の動向に注視し、事業継続が行えるように運営していきます。	継続的にご利用者の状態の変化に注意しながら、充実したプログラムを提供することで、認知症の症状を緩和し、心身機能を安定させ、在宅における日常生活を活性化する事で可能な限り在宅での生活ができるよう支援していきます。	
実施体制	【実施日数】 月・火・水・木・金・土(12/29～1/3除く) 【提供時間】 9時25分～16時25分 【定員】 35名	【実施日数】 月・金(12/29～1/3除く) 【提供時間】 9時25分～16時25分 【定員】 8名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 【通所介護】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額 その他 ・同一建物居住者の送迎についての減算 △101円/日 ・送迎減算(片道) △51円 【第1号通所事業】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額 その他 ・同一建物居住者の送迎についての減算 要支援1:△403円/月 要支援2(週1回程度利用):△403円/月 要支援2(週2回程度利用):△807円/月	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額 ・同一建物居住者の送迎についての減算 △103円/日 ・送迎減算(片道) △52円	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】 昼食代:800円	【その他料金】 昼食代:800円	【その他料金】
職員体制	通所介護事業・第1号通所事業(横浜市通所介護相当サービス) ※職員は兼務 管理者1名 生活相談員1名以上 看護職員1名以上 介護職員6名以上 調理職員5名 運転手2名	※職員は兼務 管理者1名 生活相談員1名以上 機能訓練指導員1名以上 介護職員2名以上 調理職員5名 運転手2名	
契約者数等	【延べ利用者数】7,864人 【契約者数】105人	【延べ利用者数】114人 【契約者数】0人	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和5年度「横浜市原宿地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,140,825	44,000	18,184,825	18,184,825	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	66,500	△ 66,500	
雑入	0	0	0	30,108	△ 30,108	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0	16,388	△ 16,388	
その他			0	13,720	△ 13,720	地域交流研究会交通費収入
その他	4,294,365		4,294,365		4,294,365	
収入合計	22,435,190	44,000	22,479,190	18,281,433	4,197,757	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,360,317	0	12,360,317	12,800,927	△ 440,610	
本俸	8,368,000		8,368,000	8,178,755	189,245	
社会保険料	1,093,000		1,093,000	1,241,124	△ 148,124	
手当計	2,471,317		2,471,317	2,960,102	△ 488,785	
健康診断費	59,000		59,000	50,739	8,261	
勤労者福祉共済掛金	217,000		217,000	216,938	62	
退職給付引当金繰入額	134,000		134,000	133,163	837	
その他	18,000		18,000	20,106	△ 2,106	インフルエンザ予防接種代
事務費	2,092,469	0	2,092,469	2,158,823	△ 66,354	
旅費	27,000		27,000	38,460	△ 11,460	打合せ、会議等参加交通費
消耗品費	381,000		381,000	350,434	30,566	事務用品、コピー用紙、OA消耗品、日用品等
会議賄い費			0		0	
印刷製本費	94,000		94,000	94,697	△ 697	コピーカウント
通信費	450,000		450,000	398,151	51,849	電話、インターネット回線使用料、切手、DM便
使用料及び賃借料	0	0	0	21,120	△ 21,120	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	21,120	△ 21,120	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費	45,000		45,000	21,550	23,450	新聞
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費	3,000		3,000	0	3,000	
振込手数料	8,000		8,000	7,104	896	振込手数料
リース料	43,000		43,000	42,678	322	玄関マットレンタル代
手数料	96,000		96,000	65,561	30,439	OA銀行、社労士顧問料
地域協力費	5,000		5,000	0	5,000	
その他	940,469		940,469	1,119,068	△ 178,599	監査報酬、OA保守料、諸会費等
事業費	316,426	0	316,426	100,526	215,900	
運営協議会経費	0		0	17,798	△ 17,798	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	316,426		316,426	82,728	233,698	
その他			0		0	
太陽光発電設備及び蓄電池保守点検	0	0	0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池保守点検	0	0	0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池修繕（追加）	0	0	0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池修繕（追加）	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0	0	0	0	0	
管理費	7,191,978	0	7,191,978	5,875,104	1,316,874	
光熱水費	4,982,978		4,982,978	3,703,212	1,279,766	
清掃費	1,080,000		1,080,000	1,130,653	△ 50,653	施設日常清掃業務等
機械警備費	85,000		85,000	84,676	324	施設警備
設備保全費	1,044,000	0	1,044,000	956,563	87,437	
空調衛生設備保守	161,000		161,000	160,592	408	空調機点検・フィルター清掃
消防設備保守	78,000		78,000	77,863	137	消防設備点検
電気設備保守	98,000		98,000	110,011	△ 12,011	電気設備点検・清掃
害虫駆除清掃保守	24,000		24,000	28,128	△ 4,128	害虫駆除
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	683,000		683,000	579,969	103,031	冷温水発生機・自動ドア等点検・受水槽管理、塵芥処理
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	474,000		474,000	333,697	140,303	予算：指定額
公租公課	0	0	0	770,000	△ 770,000	
事業所税			0		0	
消費税			0	770,000	△ 770,000	消費税計上
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	22,435,190	0	22,435,190	22,039,077	396,113	
差引	0	44,000	44,000	△ 3,757,644	3,801,644	

自主事業費 収入	0	0	0	66,500	△ 66,500	
自主事業費 支出	316,426	0	316,426	82,728	233,698	
自主事業 収支	△ 316,426	0	△ 316,426	△ 16,228	△ 300,198	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	16,388	△ 16,388	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	21,120	△ 21,120	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	△ 4,732	4,732	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和5年度「横浜市原宿地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	30,275,082		30,275,082	30,275,082	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	300,000		300,000	300,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,858,420		5,858,420	5,858,420	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	31,800	△ 31,800	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			157,766		157,766	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	157,766		157,766		157,766	
収入合計	36,745,268	0	36,745,268	36,619,302	125,966	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	31,291,675	0	31,291,675	30,128,765	1,162,910	
本俸	17,412,000		17,412,000	16,928,325	483,675	
社会保険料	4,210,000		4,210,000	4,226,564	△ 16,564	
手当計	8,299,675		8,299,675	7,704,859	594,816	
健康診断費	38,000		38,000	34,649	3,351	
勤労者福祉共済掛金	869,000		869,000	784,312	84,688	
退職給付引当金繰入額	439,000		439,000	431,287	7,713	
その他	24,000		24,000	18,769	5,231	インフルエンザ予防接種代
事務費	2,024,564	0	2,024,564	1,722,006	302,558	
旅費	65,000		65,000	48,237	16,763	打合せ、会議等参加交通費
消耗品費	350,000		350,000	83,561	266,439	事務用品、コピー用紙、OA消耗品、日用品等
会議賄い費			0		0	
印刷製本費	110,000		110,000	109,785	215	コピーカウント、年賀状印刷代
通信費	463,000		463,000	385,000	78,000	電話、インターネット回線使用料、切手、DM便
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	5,000		5,000		5,000	
職員等研修費	14,000		14,000		14,000	研修参加費
振込手数料	9,000		9,000	7,484	1,516	振込手数料
リース料	43,000		43,000	42,678	322	玄関マットレンタル代
手数料	96,000		96,000	75,561	20,439	OA銀行、社労士顧問料
地域協力費	5,000		5,000	4,500	500	来客用お茶代
その他	864,564		864,564	965,200	△ 100,636	監査報酬、OA保守料、諸会費等
事業費	1,392,593	0	1,392,593	759,970	632,623	
協力医	630,000		630,000	210,000	420,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	258,593		258,593	70,960	187,633	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	153,985	15	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	300,000		300,000	325,025	△ 25,025	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	50,000		50,000	0	50,000	予算：指定額
その他			0		0	
管理費	1,910,436	0	1,910,436	1,561,725	348,711	
光熱水費	1,255,436		1,255,436	984,397	271,039	
清掃費	287,000		287,000	300,551	△ 13,551	施設日常清掃業務等
機械警備費	23,000		23,000	22,508	492	施設警備
設備保全費	345,000	0	345,000	254,269	90,731	
空調衛生設備保守	43,000		43,000	42,688	312	空調機点検・フィルター清掃
消防設備保守	21,000		21,000	20,697	303	消防設備点検
電気設備保守	27,000		27,000	29,243	△ 2,243	電気設備点検・清掃
害虫駆除清掃保守	7,000		7,000	7,477	△ 477	害虫駆除
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	247,000		247,000	154,164	92,836	冷温水発生機・自動ドア等点検・受水槽管理、塵芥処理
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	126,000		126,000	88,703	37,297	予算：指定額
公租公課	0	0	0	384,300	△ 384,300	
事業所税			0		0	
消費税			0	384,300	△ 384,300	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	36,745,268	0	36,745,268	34,645,469	2,099,799	
差引	0	0	0	1,973,833	△ 1,973,833	

自主事業費 収入	0	0	0	31,800	△ 31,800	
自主事業費 支出	762,593	0	762,593	549,970	212,623	
自主事業 収支	△ 762,593	0	△ 762,593	△ 518,170	△ 244,423	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和5年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市原宿地域ケアプラザ

5年4月1日～ 6年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入			0	12,321	13,339	-1,018	29,166	29,391	-225	81,501	69,047	12,454	4,201	3,271	930
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19,408	17,988	1,420	520	430	90
	事業・負担金収入			0			0			0	18,408	17,072	1,336	520	430	90
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0	1,000	916	84			0
	収入合計(A)	0	0	0	12,321	13,339	-1,018	29,166	29,391	-225	100,909	87,035	13,874	4,721	3,701	1,020
支出	人件費			0			0	23,201	23,186	15	71,133	67,871	3,262	4,721	3,701	1,020
	事務費			0			0	2,326	1,340	986	14,915	12,763	2,152			0
	事業費			0			0	43	43	0	15,794	13,618	2,176			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他			0	9,725	11,058	-1,333	0	0	0	1,000	916	84	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0	9,725	11,058	-1,333			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0	1,000	916	84			0
	支出合計(B)	0	0	0	9,725	11,058	-1,333	25,570	24,569	1,001	102,842	95,168	7,674	4,721	3,701	1,020
	収支 (A)-(B)	0	0	0	2,596	2,281	315	3,596	4,822	-1,226	-1,933	-8,133	6,200	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和5年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	大正プロジェクト	平成29年度～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	障がいのある子どもたちが、障害の有無に関わらず地域の人たちと関わりながら豊かに過ごせる活動の場、交流を通して、成長を見守ってくれる地域のサポーターを増やすこと。	2：障害児・者		現在隔月地区センターのお部屋をお借りし、個別支援級在籍の子どもたちを対象にした居場所プロジェクトとして平成29年3月からスタートした。また、高齢者施設・障害者施設の職員、ボランティアなどと協力し開催している。 年8回予定 ※コロナウイルス感染拡大の状況により実施していく	4	31
2	たいしょう食堂	平成31年～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域の子供から高齢者が一緒に集い、食事をする場の提供により、地域の活性化(世代間交流)を目的として実施	5：地域		大正地区センターを会場として開催。令和4年度より食堂を再開することが出来た。今年度は、多世代交流ができるよう支援を行っていく。年4回予定	4	225
3	たいしょう食堂(食品配布会・フードドライブ)	令和2年～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	コロナ禍より始まった事業(当初食堂の代わりとして実施)。生活に困っている家庭への支援だけではなく、困った時に声を上げられる関係性を構築していく。	5：地域		大正地区センターを会場として開催。令和5年度より、3施設で同日でフードドライブを実施。集まった食品等を配布会にて活用。配布会年4回、フードドライブ年4回	8	546
4	障がい学習会	平成30年～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	障害のあるこどもの保護者どうしの情報交換や研修を通し、地域に必要とするサービスなどの開発や関係機関とのネットワーク作りにつなげる。	2：障害児・者		障害のあるこどもたちがいきいきと個性を活かして地域になるにはとのことで意見交換。大正小学校の個別支援級在籍の児童を対象としてスタートしたが様々な課題が出てきているため今後検討することとなった。 年4回程度 ※コロナウイルス感染拡大の状況により実施していく	2	22
5	子育て連絡会	平成23年～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て支援に関わる関係機関同士のネットワークの構築、ダブルケア、虐待防止などに対応していくため、子育て分野、高齢者支援分野との連携も目的としている。	3：養育者及び乳幼児		エリア内外で活動する子育て支援関係機関、当事者サークル、高齢者施設の皆さんと地域の現状と課題について意見交換を行った。 今年度は地区社協との連携を進めていく予定。 ※コロナウイルス感染拡大の状況によりオンラインでの連絡会なども検討していく。	4	78
6	おしゃべりカフェ	平成31年～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域ケア会議などで、住民より地域の居場所が少しでも出来ればとのお声を多数頂いたため、ケアプラザで実施することとなった。今年度はチームオレンジ事業として推進していく。また、新たなボランティアの担い手を創出させる狙い。	5：地域		地域の方ならばどなたさまでも参加できるカフェ特にイベントなどは実施しないが、今年皆さまの声を確認しながら行っていく 原則毎月1回開催 ※昨年度は、コロナウイルス感染症拡大を受け開催出来ず。今年度再開に向けて検討を行っていく。	7	184
7	傾聴ボランティア養成講座	平成24年～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	独居の高齢者、日中独居の方、施設入所者、高齢者サロン、介護をしているご家族の方を対象にした傾聴活動ボランティアの育成を目的とする。	5：地域		シニアライフセラー研究所の方を講師に2回の傾聴の基礎についてワークを中心に実施。戸塚区認知症キャラバンメイト連絡会の川原先生を講師に認知症サポーター養成講座、既存の傾聴グループの方にも参加していただき傾聴の活動の様子などの紹介。	3	40
8	にこにこフリーマーケット	令和2年～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て中の母親同士の交流・情報交換、居場所づくりを目的として開催。	3：養育者及び乳幼児		子育て中の母親同士の交流・居場所作りを目的として開催(年2～3回を目標) 子育て支援団体等とも連携することにより、支援の輪が広がるように開催していく。 今年度も継続して実施できるよう、関係団体等とも連携し検討を行っていく。	2	650
9	スマホ教室	令和3年～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域のニーズを把握し前年度から地元企業の協力を仰ぎ開催し、今年度も引き続きリビングラボと連携し実施。卒業生を対象とした、フォローアップ講座も検討中。	1：高齢者		全5回の講座を予定(時期未定) 時間 10時～12時:13時30分～15時30分 場所 原宿地域ケアプラザ スマホの普及が進み様々な情報を収集できるようになってきているが、うまく活用できている方も少ない。	0	0
10	スマホ教室(フォローアップ)	令和4年～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域のニーズを把握し前年度から地元企業の協力を仰ぎ開催し、今年度も引き続きリビングラボと連携し実施。	1：高齢者		1カ月間程度 大正地区にある施設(保育園・地区センター・市民図書など)と連携し実施する予定。	1	15
11	スマホ教室(個別スマホ相談会)	令和5年～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域のニーズを把握し前年度から地元企業の協力を仰ぎ開催し、今年度も引き続きリビングラボと連携し実施。 昨年度までに卒業された方を中心にスマホ個別相談会を定期的に開催予定。最終的にシニアによるシニアのためのスマホ教室が開催できるように支援を行っていく予定。	1：高齢者		日程：不定期(現在未定) 時間：午前又は午後 場所：原宿地域ケアプラザ 内容：スマホ教室卒業生によるスマホ相談会	3	20
12	秋の大正地区図書スタンプラリー	令和3年～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	11月の読書推進月間に合わせて、スタンプラリー形式で実施することにより、読書の推進を図る	5：地域		11月1か月間程度実施予定。 大正地区にある施設(保育園・地区センター・市民図書など)と連携し、読書活動の推進を図っていく。	0	0
13	パパさん会	令和4年～	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	父親育児支援講座参加されたOB会父親の育児支援を促し、父親同士の情報共有の場としていく。またダブルケアの一環としても開催	3：養育者及び乳幼児		原則奇数月 第1日曜実施予定。 時間：10時～11時 場所：原宿地域ケアプラザ 内容：フリースペース・居場所	4	29

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
14	とつかりババ会	令和5年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	戸塚区内の5つのケアプラザでの共催事業 父親育児支援(居場所)を行っているが集客・継続に課題を抱えているため、区内のケアプラザで連携し周知する事により一人でも多くの父親に情報が届けることができる。 また、区域で父親支援事業を実施することにより課題の抽出やニーズの把握を行う。	3:養育者及び乳幼児		原則毎月開催(8月・1月はなし) 5施設で持ち回り開催 時間:10時～12時 場所:各施設又は会場	10	225
15	楽しくトレーニングしよう会	平成21年～	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	エリアの保健活動推進員と共催で「はまちゃん体操」や「ハマトレ」「脳トレ」などを実施し、介護予防の普及啓発と体操とうに従事するボランティアの育成を行う。	1:高齢者		日程:4月～3月(月1回日曜日) 時間:10時～11時 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:体操・脳トレ	12	166
16	原宿コグニサイズの会	平成30年～	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症予防教室を地域高齢者のグループと共催で開催することで、仲間づくりや社会参加を促進し、認知症予防にもつながる。	1:高齢者		日程:4月～3月(月1回土曜日) 時間:10時～11時 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:コグニサイズ・健康体操等	12	203
17	協力医による住民向け講座	令和元年～	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	疾患についての正しい知識や予防のための知識を得てもらう目的。	1:高齢者		日程:年1回 時間:13時30分～14時30分 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:協力医による健康講座	1	21
18	認知症予防音楽療法	平成28年～	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域高齢者を対象に認知症予防を目的とした講座を開催する。	1:高齢者		日程:年1回 時間:10時30分～11時30分 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:音楽療法士による歌やリズム、回想法を用いた認知症予防講座	1	31
19	GOGO体操	令和2年～	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防講座のOB会として立ち上がった介護予防活動グループ。会との共催により安定的な開催ができるようにする。	1:高齢者		日程:毎月2回(火曜日) 時間:①13:30～15:00 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:健康体操	24	521
20	居宅介護事業所連絡会・研修会	H28	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域のケアマネジャー等と民生委員を対象に、研修会やインフォーマルサービス等の情報提供を行い、地域包括ケアシステム実現に向けて、在宅生活を継続するための支援に取り組む。	6:事業者	5	地域のケアマネジャーと民生委員を対象に、協力医の講師による研修会、インフォーマルサービス等の紹介。ケアマネジャーと民生委員の顔の見える関係作り。	1	34
21	よこはまシニアボランティア登録研修会	平成28年～	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	ボランティア活動を行うことにより、ご本人の健康維持と介護予防、社会参加・地域貢献を通じた「生きがいづくり」と介護施設等の地域とのつながりの深まりや施設利用者の生活をより豊かにすることを目的とする。	1:高齢者		実施時期:年1回程度 内容:よこはまシニアボランティアポイント事業登録研修会と地域の高齢者福祉施設を歩き事業所紹介(ボランティア募集について)を実施。	1	2
22	生活支援交流会・居宅介護支援事業所連絡会	平成28年～	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	様々な主体による多様な支援の活動報告や介護予防・生活支援の充実した地域づくりのための情報提供、ケアマネジャー同士の関係構築、介護保険制度や社会福祉資源の情報共有等を行う。	6:事業者		実施時期:年2回程度 内容:インフォーマルサービスや横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業等の情報提供。ケアマネジャー向け研修会の開催。民生委員の研修会も同時開催。	1	31
23	知っ得講座	平成30年～	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	介護保険申請やケアマネジャーの役割、福祉用具や住宅改修等についての講座を実施し、住み慣れた地域でより安心した老後を迎えることができるような情報を周知していく。	1:高齢者		実施時期:年2回程度 内容:包括支援センター職員による介護保険制度の周知及び福祉用具の事業所による住宅改修、成年後見制度等の説明。	2	47
24	終活講座	令和2年～	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	終活講座を行うことで、安心して生活ができるような情報を発信していく。	1:高齢者		実施時期:年2回程度 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:生前整理・相続等	0	0
25	携帯電話講座	令和2年～	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	地域住民を対象にスマートフォンの基本的な使い方(カメラやメール等)について講座を行い、子どもや孫世代とのコミュニケーションツールとなるように情報発信していく。	1:高齢者		実施時:年2回程度 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:スマートフォンの使い方講座等	0	0
26	森のカフェこすずめ	令和元年～	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	小雀町の現在の活動に加え、今まで実施していなかったカフェを行い、地域活動に参加されていなかった方々の掘り起こしを行う。	5:地域		実施日:原則第3水曜日 時間:10時～12時 場所:小雀町内会館 内容:どなたでも参加できる地域向けのカフェ	10	63
27	お医者さんとの上手な付き合い方、話し方。	令和3年～	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、病院との関わり(医師等)を含め、地域の方々々に周知をしていきたい。	5:地域		実施時期:年1回 内容:お医者さん等と上手な付き合い方や、話をするコツについての講義を実際に医師を招いて行う。	1	23
28	エンディングノート	令和2年～	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	エンディングノートの概要を理解し、実際に書いてみることで、自身の将来への備えを考えてもらうきっかけとする。(戸塚区版エンディングノートをもとに講座開催)	1:高齢者		時間:13時30分～15時 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:戸塚区版エンディングノートをもとに講座開催を予定	1	35
29	生活支援体制整備事業協議体	平成28年～	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	①多様な主体間の情報共有、連携体制の構築 ②地域情報や課題の把握 ③地域づくりにおける意識の統一 ④新たなサービス創出	1:高齢者		実施時期:年4回程度 内容:地域の強みや地域住民が関心を持つことができ、集まりやすいテーマ等のグループワーク。サービス創出に向けた意見交換。	3	33

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
30	おひとよしの会	令和5年～	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	コロナ禍の為にボランティア活動を中止していた方々と共に地域貢献活動を基本に活動する会を作り活動を開始した。	5：地域		実施日：毎月月曜日（休館日を覗く） 時間：10時～15時 場所：原宿地域ケアプラザ 内容：ケアプラザや近隣の介護施設の助けとなる活動	32	148
31	ボランティア情報交換会	令和2年～	5：共催（1と3）	2：発展させるねらい	ボランティア活動についての情報交換や共有を行なうことを目的とする。（活動の継続や新たな活動に結び付けられる機会づくり。活動の悩み等を報告できる機会となっている。）	5：地域		日程：年5回 時間：10時～12時 場所：原宿地域ケアプラザ 内容：ケアプラザや近隣の介護施設の助けとなる活動	0	0
32	NPO法人ぐるーぶちえのわサービスB	令和4年～	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	令和4年度から横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業がスタートした。サービスB事業を行う中でぐるーぶちえのわと共に事業を進め安定経営を目指し、地域へ活動を浸透させる。	1：高齢者		実施日：毎月水曜日（年末年始、祭日を除く） 時間：11時～14時 場所：原宿地域ケアプラザ 内容：介護予防運動や認知症予防の取組、アート活動等幅広い活動。	46	765
33	父親育児支援事業	令和5年	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	父親育児支援事業として開催予定（横浜市事業）ダブルケアの一環として実施予定。父親同士の情報共有の場や父親の育児参加を促していく。参加者された方を原宿のパパさん会へ繋ぐ方向	3：養育者及び乳幼児		11月23日（木・祝）・12月2日（土） 時間 10時～11時30分 場所 原宿地域ケアプラザ	2	6
34	HJTトレーニングクラブ	令和5年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護予防活動への参加率の少ない男性を取り込む目的で行った、介護予防講座「男の筋トレ」のOB会として立ち上がった男性中心の介護予防活動グループ。会との共催により、安定的な活動が出来るようになる	1：高齢者		日程：毎月1回（第3木曜日） 時間：13：30～15：00 場所：原宿地域ケアプラザ 内容：健康体操、筋トレ	4	48